PAW-1333A(20101)

施工説明書

この QR コードは
メーカー管理用です。

フルオート便器洗浄ユニット

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取付けください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- 同梱部品以外は、保証の対象外となります。

お客さまへ
- 本製品はシャワートイレとセットになっています。単独で取り付けることができませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取付けは、専門知識を必要としています。取り付ける際は必ず、施工業者様または LIXIL 修理受付センター（取扱説明書に記載）にご依頼ください。

施工業者さまへ
- お客様に必ず本書と取扱説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

商品を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
商品の取付前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。 — 分解禁止

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。 — 水場使用禁止

ぬれた手で電源プラグやコネクタにさわらないでください。
※ 感電の原因になります。 — ぬれ手禁止

本体やコードに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。 — 水かけ禁止

コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ コードが破損し、感電・火災の原因になります。 — 禁止

交流 100V 以外では使用しないでください。
※ 火災の原因になります。 — 禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。 — 禁止

⚠ 注意

強い力や衝撃を与えないでください。
※ 故障の原因になります。 — 禁止

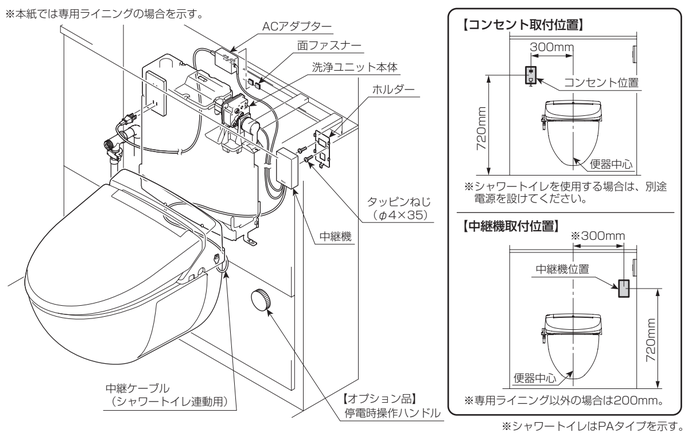
新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり漏水によって建物、家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。 — 指示実行

取付前に

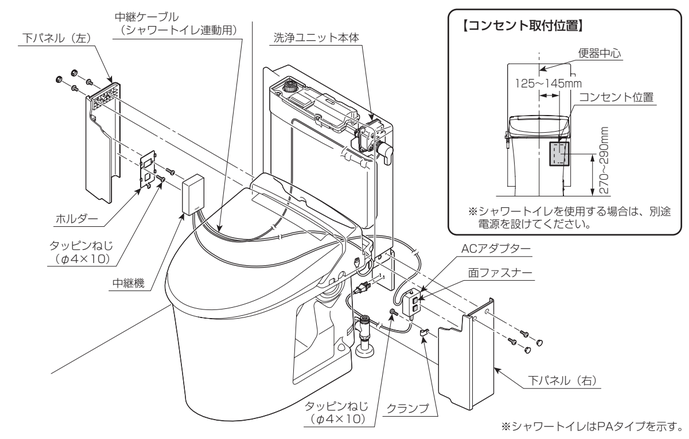
- 電気工事は、十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- 電気製品ですので中継機や、AC アダプター、リモコンに水をかけないようご注意ください。また浴室内では使用しないでください。
- 電源は AC100V（50/60Hz）、消費電力は 18 W です。当商品と他の電気機器を併設する際の電源用コンセント布設に関しては、必ず電気工事店様にご依頼ください。

各部のなまえ

《壁掛け便器の場合》

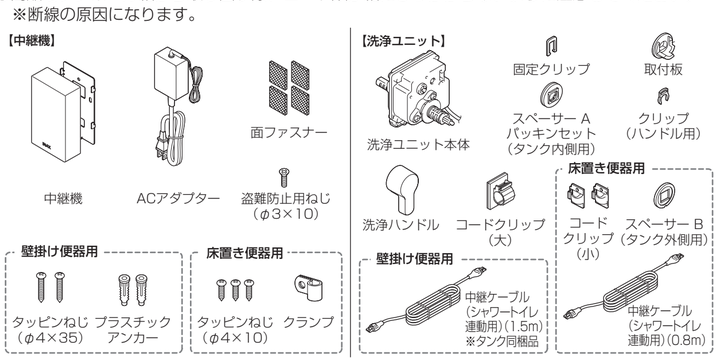


《床置き便器の場合》



部品の確認（梱包内容を確認してください。）

- 梱包内容を確認してください。
- 商品をダンボール箱から取り出す際、コード類が箱にひっかからないように注意してください。
  ※断線の原因になります。

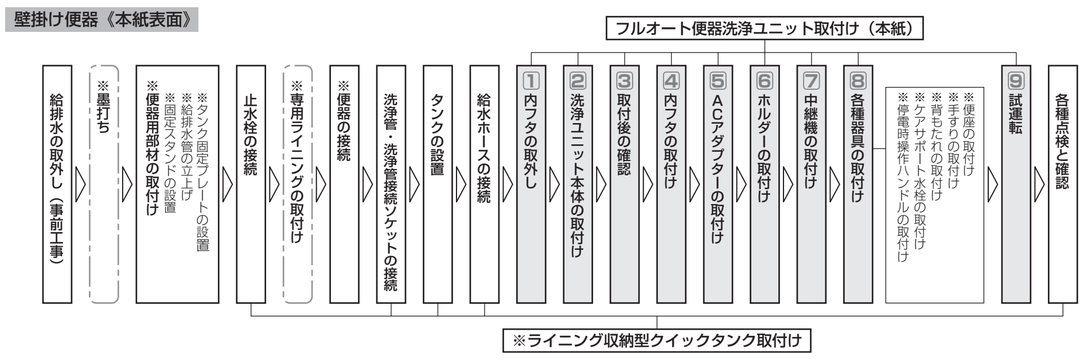


施工手順

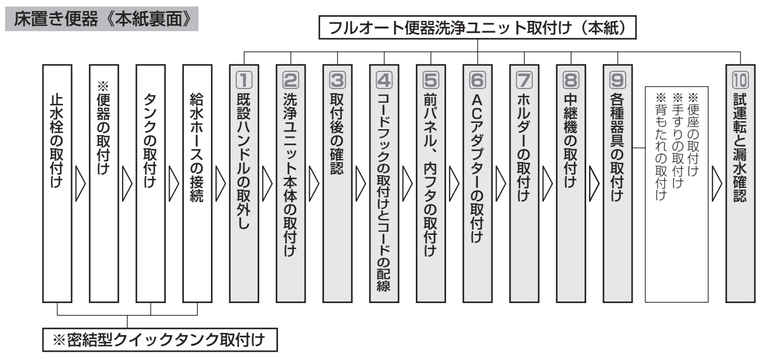
工事区分を事前にご確認の上、それぞれの工事がスムーズに進むよう各工程、納まりを十分検討の上、工事を進めてください。
□は本紙、※は各製品に同梱している施工説明書に従い施工してください。

推奨工事区分
□：建築工事
上記以外：設備工事

壁掛け便器《本紙表面》



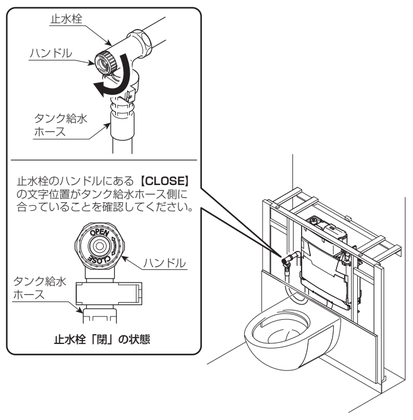
床置き便器《本紙裏面》



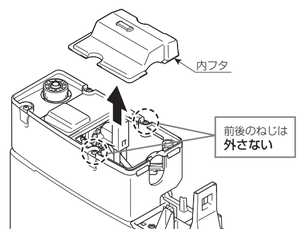
施工方法《壁掛け便器の場合》

1 内フタの取外し

（1）止水栓が閉じていることを確認します。
※矢印の方向に回したときに動かなければ閉じています。
※シャワートイレ専用止水栓は必ず閉じてください。

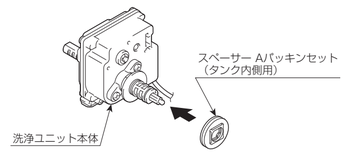


（2）内フタを取り外します。



2 洗浄ユニット本体の取付け

（1）スペーサー A パッキンセット（タンク内側用）を洗浄ユニット本体に組み付けます。



下段左へつづく

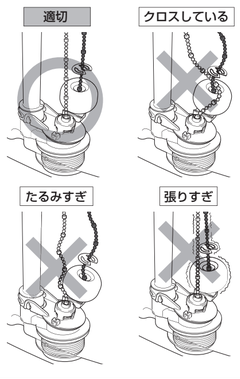
注意 1
- 洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。
  ※本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
- 本体が傾かないように注意してください。
  ※本体が傾くと洗浄不良の原因になります。

注意 2
クリップ (ハンドル用) は、確実にはめ込んでください。
※はまっていないと洗浄不良の原因になります。

注意 3
ナットの締付トルクは 2 ～ 2.5N・m が適正です。
※締め付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
※締め過ぎると破損する恐れがあります。

参考 1
引上アームを洗浄ユニット本体にあたるまで挿し、引上アームに固定クリップを取り付けます。その後、引上アームを少し戻すと指定の溝に固定クリップをはめることができます。

注意 4
玉鎖や引上アームが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。また、玉鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。



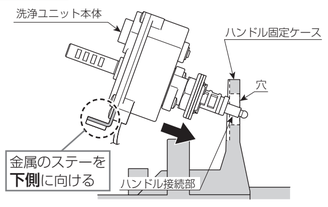
注意 5
面ファスナーはラベルと反対側の面に貼り付けてください。

注意 6
気温が低い場合、面ファスナーの粘着材が固くなることがあります。開梱時に体温で温めるなどして、粘着材を柔らかくしてからご使用ください。
※粘着材表面の適温の目安は 20℃以上です。

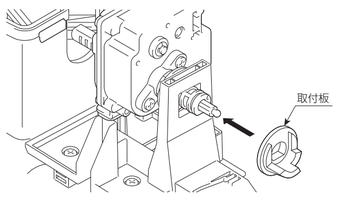
注意 7
必ず脱脂洗浄剤等で接着面のホコリや油分等を拭き取った後で面ファスナーを貼り付けてください。
※はがれ、落下、位置ズレの原因となります。

注意 8
AC アダプターのコードが下向きになるように貼り付けてください。

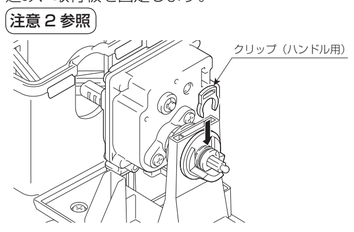
（2）ハンドル固定ケースの穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。
注意 1 参照



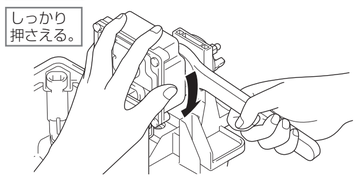
（3）取付板を洗浄ユニット本体に取り付けます。



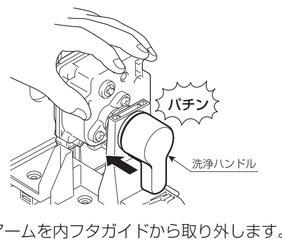
（4）クリップ (ハンドル用) をハンドル接続部の溝にはめ込み、取付板を固定します。
注意 2 参照



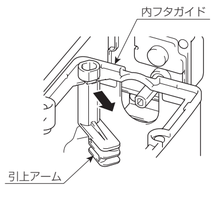
（5）ナットを増し締めし、洗浄ユニット本体をハンドル固定ケースに固定します。
※初めに手でいっぱいに締め付けてから、工具で 1 回転増締めします。
注意 3 参照



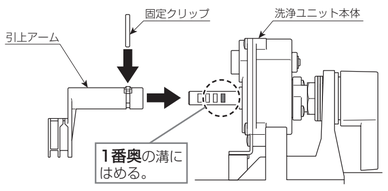
（6）洗浄ハンドルを『パチン』と音がするまでしっかりはめ込みます。
※停電時操作ハンドル（オプション品）を取り付ける場合、この作業は不要です。



（7）引上アームを内フタガイドから取り外します。

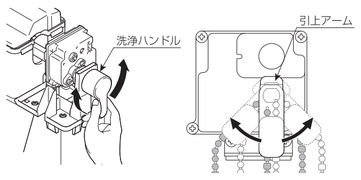


（8）引上アームを洗浄ユニット本体に取り付け、固定クリップで固定します。
参考 1 参照



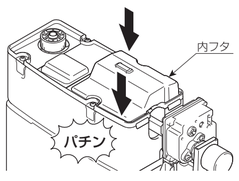
3 取付後の確認

（1）洗浄ハンドルを手で操作して、洗浄ハンドルが外れたり、引上アームが内部金具などに干渉しないことを確認します。
注意 4 参照



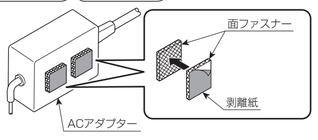
4 内フタの取付け

（1）内フタの矢印部分（2 ヶ所）を押して、『パチン』と音がするまでしっかりはめ込みます。

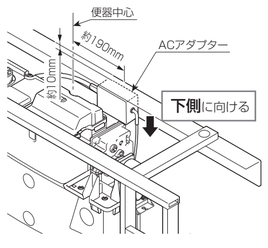


5 AC アダプターの取付け

（1）面ファスナー 2 個を貼り合わせて、剥離紙をはがし、AC アダプターの裏側に面ファスナーを貼り付けます。
注意 5 参照 注意 6 参照

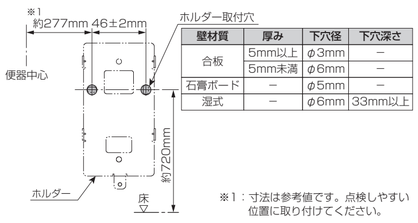


（2）AC アダプターの面ファスナーの剥離紙をはがし、AC アダプターをライニングのフレーム面に取り付けます。
※専用ライニング以外の場合は、AC アダプターのコードが中継機およびコンセントに届く範囲に取り付けてください。
注意 7 参照 注意 8 参照



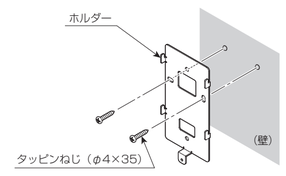
6 ホルダーの取付け

（1）ホルダーを壁の取付位置に合わせて、取付穴をケガきます。
（2）壁に下穴をあけます。

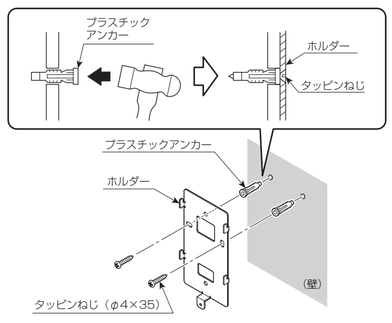


壁材質	厚み	下穴径	下穴深さ
合板	5mm以上	φ3mm	－
	5mm未満	φ6mm	－
石膏ボード	－	φ5mm	－
湿式	－	φ6mm	33mm以上

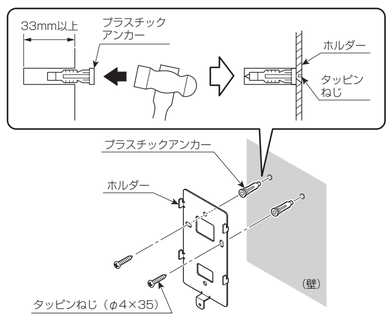
《乾式壁で合板壁の厚みが 5mm 以上の場合》
（3）ホルダーをタッピンねじ（2 本）で固定します。
注意 9 参照



《乾式壁で合板壁の厚みが 5mm 未満および石膏ボード壁の場合》
石膏ボードは厚さに関係なくこちらの施工方法になります。
（3）ハンマーなどを使って、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
（4）ホルダーをタッピンねじ（2 本）でしっかりと固定します。
※締め付けていくと最初は堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。
注意 9 参照

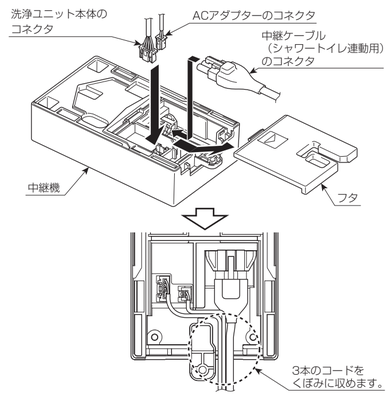


《湿式壁の場合》
（3）ハンマーなどを使って、プラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
（4）ホルダーをタッピンねじ（2 本）でしっかりと固定します。
※締め付けていくと最初は堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。
注意 9 参照

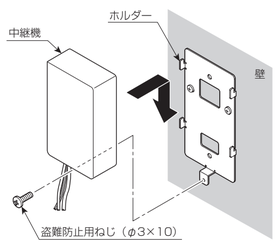


7 中継機の取付け

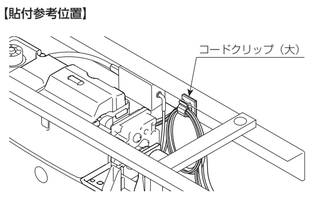
（1）中継機裏側のフタをあけ、各コネクタを中継機に接続し、フタを閉めます。



（2）壁に取り付けたホルダーに中継機を取り付け、盗難防止用ねじで固定します。
※中継機がホルダーにはまるように押し下げて取り付けます。
注意 9 参照



（3）AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。
（4）必要に応じてコードクリップ（大）で各コードを固定します。



8 各種器具の取付け

各種器具に同梱の施工説明書に従って取り付けます。

9 試運転

裏面の「試運転」を行った後、「ライニング収納型クイックタンク施工説明書」の「6 各種点検と確認」を行ってください。

注意 9
ねじの締め付けには、インパクトドライバーや電動ドライバーは使用しないでください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ～ 18:00
土日・祝日 9:00 ～ 17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

注意 1
ねじの締め付けには、インパクトドライバーや電動ドライバーは使用しないでください。

注意 2
●洗浄ユニット本体をタンク内に落とさないでください。
※本体内部に水が浸入して破損する恐れがあります。
●本体が傾かないように注意してください。
※本体が傾くと洗浄不良の原因になります。

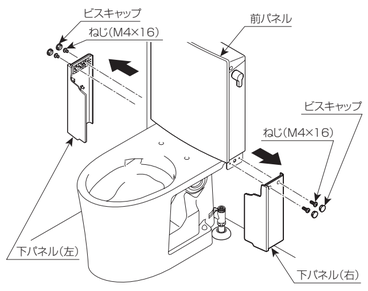
注意 3
スペーサー B（タンク外側用）の切欠部の向きと取付板の突起部の向きを合わせてください。
※向きを間違えると、洗浄ユニット本体に組み付けできません。

注意 4
スペーサー B（タンク外側用）の突起が、後パネルの穴に入るよう取り付けてください。

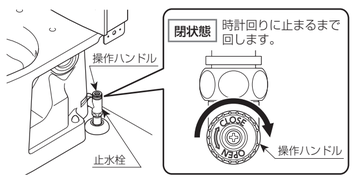
施工方法《床置き便器の場合》

1 既設ハンドルの取外し

(1) 左右のビスキャップ（各 2 個）、ねじ（各 2 本）を外し、左右の下パネルを取り外します。
注意 1 参照

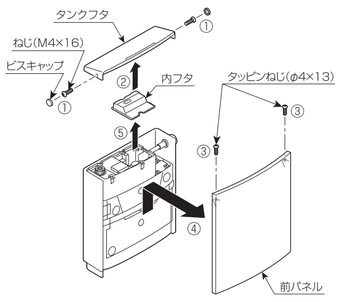


(2) 止水栓の操作ハンドルを時計回りに止まるまで回して止水栓を閉めます。

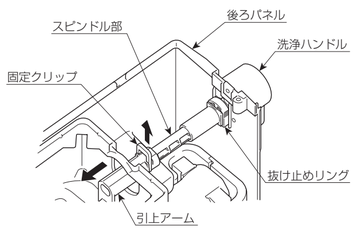


(3) 洗浄ハンドルを操作してタンク内の水を抜きます。

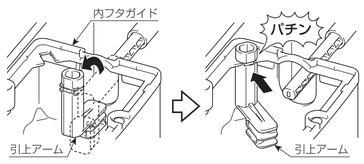
(4) 以下①～⑤の手順に従ってタンクの前パネルを取り外します。（下図参照）
① タンクフタの左右のビスキャップ(各 1 個)とねじ(各 1 個）を外します。
② タンクフタを外します。
③ 前パネルのねじ（2 本）を外します。
④ 前パネルの両サイドを持って上にスライドさせ外します。
⑤ 内フタを外します。



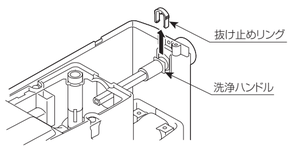
(5) 固定クリップを持ち上げて、引上アームをスピンドル部から取り外します。



(6) 引上アームを内フタガイドに取り付けます。（パチッと音がします。）

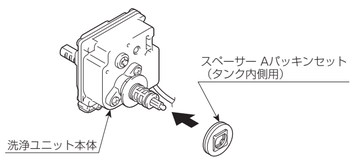


(7) 抜け止めリングを外し、洗浄ハンドルを取り外します。

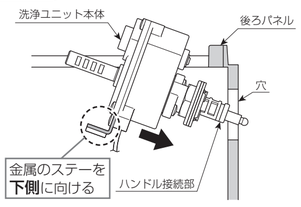


2 洗浄ユニット本体の取付け

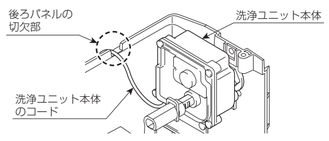
(1) スペーサー A パッキンセット（タンク内側用）を洗浄ユニット本体に組み付けます。



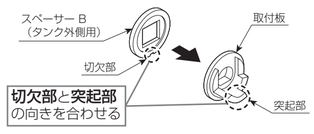
(2) 後ろパネルの穴に洗浄ユニット本体のハンドル接続部を通します。
注意 2 参照



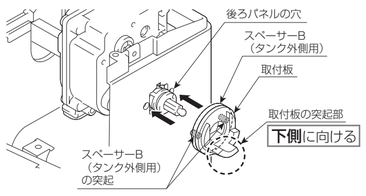
(3) 洗浄ユニット本体のコードを後ろパネルの切欠部に掛けます。



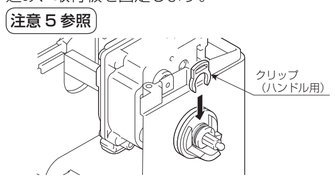
(4) 取付板にスペーサー B(タンク外側用)を取り付けます。
注意 3 参照



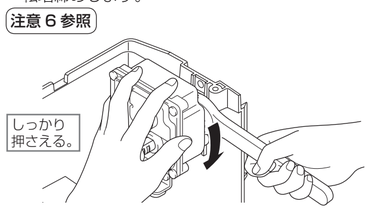
(5) 取付板の突起部を下側にして、後ろパネルの穴に取り付けます。
注意 4 参照



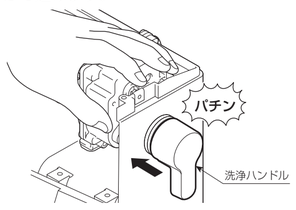
(6) クリップ (ハンドル用) をハンドル接続部の溝にはめ込み、取付板を固定します。
注意 5 参照



(7) ナットを増し締めし、洗浄ユニット本体を後ろパネルに固定します。
※初めに手でいっぱいに締め付けてから、工具で 1 回転増締めします。
注意 6 参照

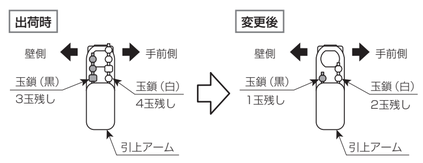


(8) 同梱の洗浄ハンドルを『パチン』と音がするまでしっかりはめ込みます。

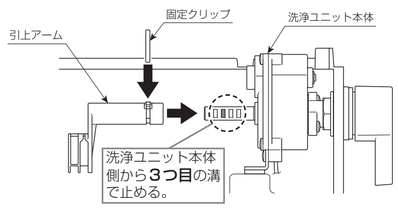


(9) 引上アームを内フタガイドから取り外します。

(10) 引上アームから玉鎖（黒）と玉鎖（白）を取り外し、位置を変更します。
注意 7 参照

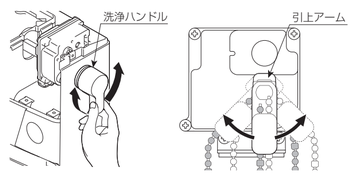


(11) 引上アームを洗浄ユニット本体に取り付け、固定クリップで固定します。



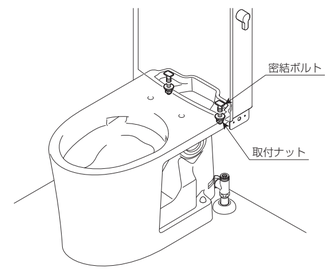
3 取付後の確認

(1) 洗浄ハンドルを手で操作して、洗浄ハンドルが外れたり、引上アームが内部金具などに干渉しないことを確認します。
注意 8 参照



4 コードフックの取付けとコードの配線

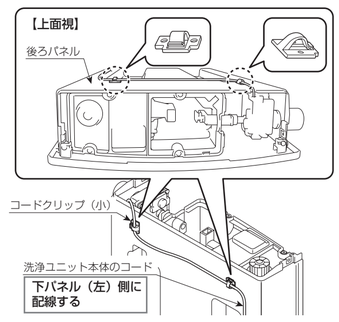
(1) タンクを固定している取付ナットをゆるめます。



(2) タンクを前に倒します。

(3) コードクリップ（小）（2 個）を向きに注意して後ろパネルに貼り付けます。（下図【上面視】参照）

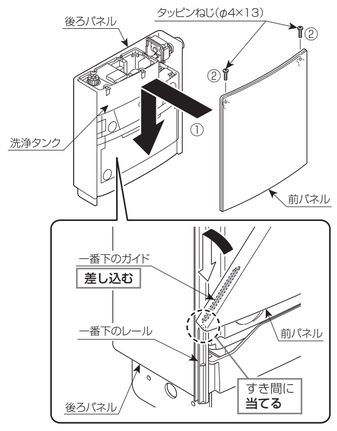
(4) 洗浄ユニット本体のコードをコードクリップに差し込み、下パネル（左）側に配線します。



(5) タンクを固定します。
※取付ナットは手締めの後、2.5 回転以下としてください。（締付トルク目安：2 ～ 4N·m）
※「キュッキュッ」という異音がする場合は締め過ぎのため、増締めをやめてください。
注意 9 参照

5 前パネル、内フタの取付け

(1) 以下①～②の手順に従ってタンクの前パネルを後ろパネルに取り付けます。（下図参照）
① 前パネルを取り付けます。
※前パネル一番下のガイドを後ろパネル一番下のレールのすき間に当てたまま、前パネルを洗浄タンク側へ立てるとスムースに取り付けることができます。
② ねじ（2 本）で固定します。
注意 10 参照

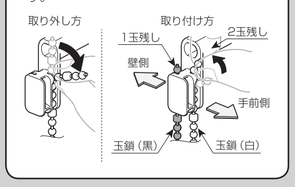


下段左へつづく

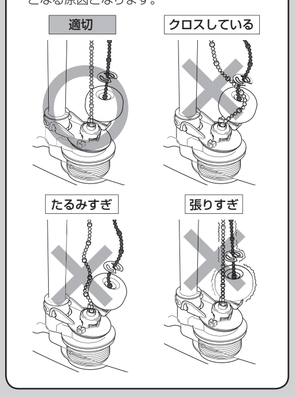
注意 5
クリップ (ハンドル用) は、確実にはめ込んでください。
※はまっていないと洗浄不良の原因になります。

注意 6
ナットの締付トルクは 2 ～ 2.5N・m が適正です。
※締め付けが緩いと洗浄不良になる恐れがあります。
※締め過ぎると破損する恐れがあります。

注意 7
玉鎖は手前側が白、壁側が黒になるように取り付けてください。
※反対に取り付けると洗浄不良の原因になります。



注意 8
玉鎖や引上アームが浮玉など他のものに触れて、動作の妨げにならないことを確認してください。また、玉鎖の張りすぎやたるみすぎがないことを確認してください。
※十分に水が流れなかったり、水が流れっ放しとなる原因となります。



注意 9
●取付ナットの締付けは左右交互に少しずつ行い、片利きのないようにしてください。
※タンクが割れる恐れがあります。
※漏水の原因になります。
●タンクを背面側に押しつけて施工しないでください。
※タンクが破損して、漏水の原因になります。

注意 10
前パネルが後ろパネルにしっかりと取り付いていることを確認してください。
※前パネルと後ろパネルの間にすき間がある場合は、すべてのガイドとレールがはまっていない恐れがありますので、取り付け直してください。

注意 11
タンクフタは漏水確認の後に取り付けてください。

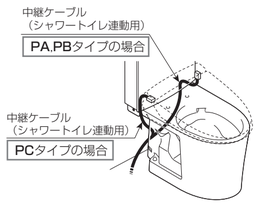
注意 12
面ファスナーはラベルと反対側の面に貼り付けてください。

注意 13
気温が低い場合、面ファスナーの粘着材が固くなることがあります。開梱時に体温で温めるなどして、粘着材を柔らかくしてからご使用ください。
※粘着材表面の適温の目安は 20℃以上です。

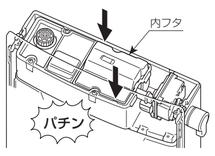
注意 14
必ず脱脂洗浄剤等で接着面のホコリや油分等を拭き取った後で面ファスナーを貼り付けてください。
※はがれ、落下、位置ズレの原因となります。

注意 15
下パネルは漏水確認の後に取り付けてください。

参考 1
中継ケーブル（シャワートイレ連動用）のコネクタの接続先は、シャワートイレのタイプにより異なります。下図を参考にして中継ケーブル（シャワートイレ連動用）を取り廻してください。

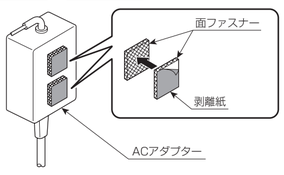


(2) 内フタの矢印部分（2 カ所）を押して、『パチン』と音がするまでしっかりはめ込みます。
注意 11 参照



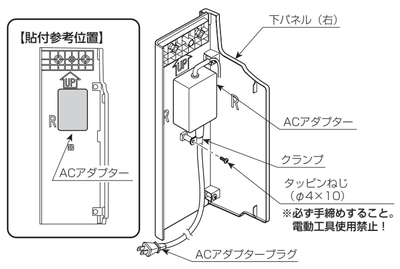
6 AC アダプターの取付け

(1) 面ファスナー 2 個を貼り合わせて、剥離紙をはがし、AC アダプターの裏側に面ファスナーを貼り付けます。
注意 12 参照 注意 13 参照

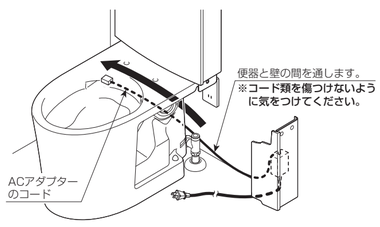


(2) AC アダプターの面ファスナーの剥離紙をはがし、AC アダプターをプラグ側のコードを下向きにして、下パネル（右）に取り付けます。
注意 14 参照

(3) AC アダプターのプラグ側のコードをクランプに挟み込み、ねじで下パネル（右）に固定します。

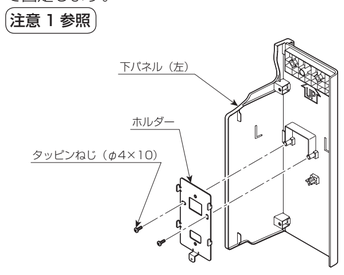


(4) AC アダプターのコードを便器背面を通して左側に通します。



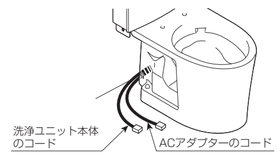
7 ホルダーの取付け

(1) 中継機のホルダーを、下パネル（左）にねじ（2 本）で固定します。
注意 1 参照

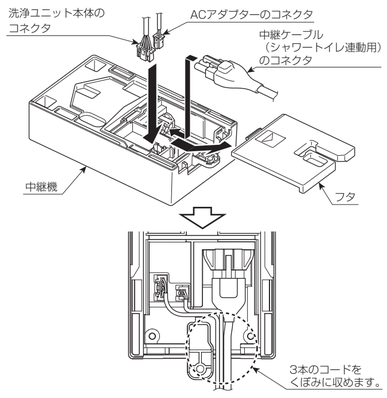


8 中継機の取付け

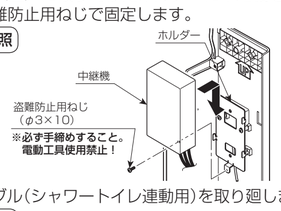
(1) 各コードが便器左側に配線されていることを確認します。



(2) 中継機裏側のフタをあけ、各コネクタを中継機に接続し、フタを閉めます。

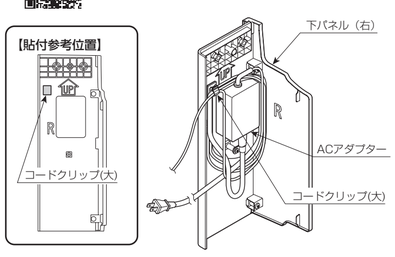


(3) 下パネル（左）に取り付けたホルダーに中継機を取り付け、盗難防止用ねじで固定します。
注意 15 参照

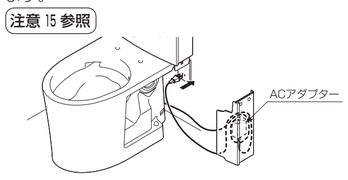


(4) 中継ケーブル(シャワートイレ連動用)を取り廻します。
参考 1 参照

(5) コードクリップ (大) を下パネル (右) に貼り付け、AC アダプターのコードを束ねます。
※詳しい施工方法を動画でご確認いただけます。



(6) AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。
注意 15 参照



9 各種器具の取付け

各種器具に同梱の施工説明書に従って取り付けます。

10 試運転と漏水確認

右の手順に従い「試運転」と「漏水確認」を行ってください。

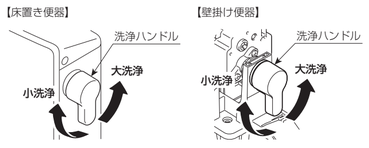
試運転

試運転は各種器具の取付後に行ってください。

1 手動による便器洗浄の確認

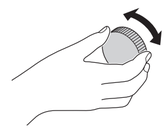
(1) 止水栓を開き、タンクに通水します。

(2) 手で洗浄ハンドルを操作して、大洗浄・小洗浄が確実に行われることを確認します。



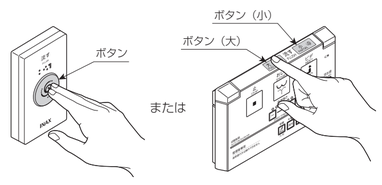
《壁掛け便器の場合で、
停電時操作ハンドル (オプション品) がある場合》

(1) 停電時操作ハンドルを操作して、洗浄が確実に行われることを確認します。



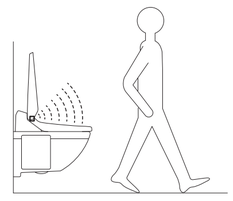
2 スイッチによる便器洗浄の確認

(1) ボタンを押すと、洗浄水が流れることを確認します。
※ 1 度洗浄を行うと、ムダな洗浄を防ぐため、その後 10 秒間は再洗浄できません。
注意 16 参照



3 着座センサーによる便器洗浄の確認

(1) 使用者が立ち上がって 10 秒後に洗浄水が自動で流れることを確認します。
注意 17 参照



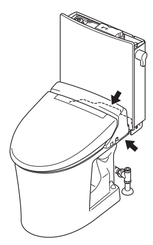
注意 16
スイッチにガタツキがないか確認してください。

注意 17
シャワートイレの設定によっては、フルオート便器洗浄機能が切られている場合があります。

漏水確認《床置き便器の場合》

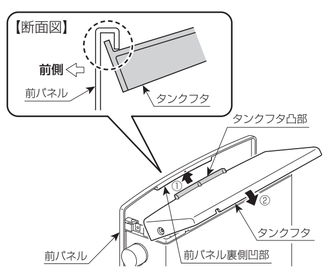
1 漏水の確認

(1) 便器とタンクの密結部から漏水がないことを確認します。

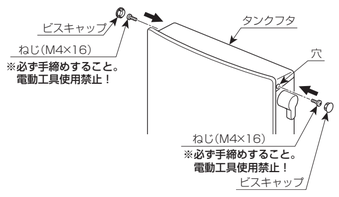


2 タンクフタ、下パネルの取付け

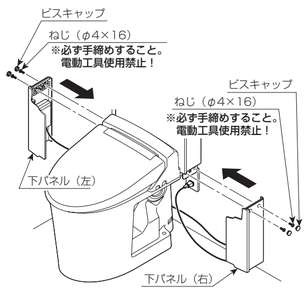
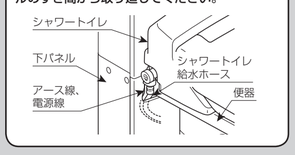
(1) タンクフタ凸部を前パネル裏側凹部に差し込むようにして取り付けます。



(2) ねじで左右側面を固定し、ビスキャップをねじ頭にかぶせます。



(3) 下パネルをタンク左右側面にねじ（各 2 本）で固定し、ビスキャップ（各 2 個）をねじ頭にかぶせます。
注意 18 参照



注意 18
シャワートイレの場合は、シャワートイレ給水ホースおよびアース線、電源線を便器と下パネルのすき間から取り廻してください。